

事務事業名	予防接種事業（麻疹風疹混合・日本脳炎）				担当	健康福祉部 健康増進課 母子健康係		
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			電話番号	0285-83-8121		
施策名	06	健康づくりと適切な医療の確保			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	予防接種法					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和23年度～）		
予算科目	1. 一般会計	4. 衛生費	1. 保健衛生費	2. 予防費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	予防接種法による予防接種は市町村長が行うこととされており、予防接種の対象者は、予防接種を受けるよう努めなければならないとされている。麻疹風疹及混合日本脳炎については、国の指導により集団接種から個別接種への移行し、医療機関に委託している。【麻疹風疹混合】1期（1歳）2期（小学校就学前の1年間にある者）4期（高校3年生）を個別接種で実施し、3期は集団接種で各中学校で実施している。【日本脳炎】1期（生後6カ月以上90カ月未満）、2期（9歳）、及び接種中止や接種控え時期のあった特例対象者（平成7年4月2日から平成19年4月1日生まれ）の1期2期の接種不足分の接種を実施している。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 24年度実績 ・対象者に対する通知 ・乳幼児健康診査時（4カ月、9カ月、1歳6カ月、2歳、3歳、4歳）に口頭で勧奨した。 ・広報誌等に掲載、幼稚園・保育園の就学前児にパンフレットを配布した。 ・実施報告書整理及び支払、予防接種台帳の入力。 25年度計画 平成24年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移									
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)		
	ア	麻疹風疹混合（1期）接種者数	人	715	757	713	683	680		
	イ	麻疹風疹混合（2期）接種者数	人	758	755	747	694	700		
	ウ	麻疹風疹混合（4期）接種者数	人	641	684	624	708	0		
エ	日本脳炎接種者数(1期・2期)	人	371	2,363	3,749	3,243	5,000			
オ										
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 麻疹風疹混合：1期（生後12カ月以上24カ月未満）、2期（小学校就学前1年間）、4期（高校3年生） 日本脳炎：1期（生後6カ月以上90カ月未満）、2期（9歳）、特例対象者	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移									
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)		
	ア	麻疹風疹混合（1期）対象者数	人	734	764	776	712	742		
	イ	麻疹風疹混合（2期）対象者数	人	791	789	801	805	763		
	ウ	麻疹風疹混合（4期）対象者数	人	799	827	778	759	0		
エ	日本脳炎対象者数	人	2,288	3,219	3,190	3,089	3,153			
オ										
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 予防接種を受けることにより、感染症を予防する。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移									
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)		
	ア	麻疹風疹混合（1期）予防接種率	%	97.4	99.1	91.9	95.9	91.6		
	イ	麻疹風疹混合（2期）予防接種率	%	95.8	95.7	93.3	86.2	91.7		
	ウ	麻疹風疹混合（4期）予防接種率	%	80.2	82.7	80.2	83.3	0		
エ	日本脳炎予防接種率	%	16.2	73.4	117.5	105.0	158.6			
オ										
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 感染症の発生予防、まん延防止を図り、健康な状態で生涯を暮らしてもらおう。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移									
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)		
	ア	麻疹風疹を受けて健康な生活を送れた数	人	2,114	2,196	2,084	2,085	1,380		
	イ	日本脳炎を受けて健康な生活を送れた数	人	371	2,363	3,749	3,243	5,000		
	ウ									
エ										
オ										
(2) 総事業費の推移										
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	39,640	56,584	68,795	45,997	0	
	事業費計(A)			千円	39,640	56,584	68,795	45,997	0	
	人件費		正規職員従事人数	人	2	2	2	2	0	
			延べ業務時間	時間	420	523	523	523	0	
			人件費計(B)	千円	1,704	2,232	2,219	2,198	0	
			トータルコスト(A)+(B)			千円	41,344	58,816	71,014	48,195

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	予防接種法に基づき、感染症の発生予防とまん延防止を図るため、昭和23年から開始している。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	麻疹風疹混合は、平成20年度より5年間時限措置として、3期（中学1年・集団）、4期（高校3年生）が定期接種となった。平成24年度で終了となる。日本脳炎は、平成17年の積極的な勧奨の差し控えを解消するため、平成22年度から3歳児に対する2回接種に対して積極的接種勧奨を行った。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 予防接種法に基づき実施しているため、感染症の発生予防は市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 予防接種法で市町村の業務となっている。また、市民の健康保持は市の役割である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 予防接種法に基づき実施しているため、対象・意図は適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 予防接種法に基づき実施しているため、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 予防接種法に基づく事務であり、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 予防接種法に基づき実施しているため、削減できない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の人件費で実施しているため、削減できない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 該当者全員を対象としているため、公平・公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							